

展覧会への入口講座 Vol.17 三菱一号館美術館 × 日比谷図書文化館

プラド美術館—フランドル絵画へのいざない



アントン・ラファエル・メンクス 《マリア・ルイサ・デ・バルマ》1765年 油彩、カンヴァス 48×38cm
プラド美術館蔵 ©Archivo Fotográfico, Museo Nacional del Prado, Madrid.

日比谷図書文化館では、展覧会を手掛けたプロを講師にお迎えし、今までとは違った1歩踏み込んだ楽しみ方をお届けする「展覧会への入口講座」を開催しています。今回は10月10日(土)から三菱一号館美術館で開催される「プラド美術館展—スペイン宮廷 美への情熱」展の関連講座を行います。

1819年開館のプラド美術館は、ハプスブルク家、ブルボン家の歴代スペイン国王の蒐集品を継承し、所蔵品は王侯貴族の嗜好が色濃く反映しています。本講座では、なかでも初来日となるボスを中心としたフランドル(現在のベルギー、オランダ、フランスの一部)絵画を紹介します。

講師 安井裕雄(三菱一号館美術館学芸グループ副グループ長)

1969年生まれ。財団法人ひろしま美術館学芸員、岩手県立美術館専門学芸員を経て、現在、三菱一号館美術館学芸グループ副グループ長。専門はフランス近代美術。モネ晩年の睡蓮に焦点を当てた企画展「モネ展-睡蓮の世界」(2001年)を共同監修。ほかに、「ヴィクトル・ユゴーの世界展」(1996年)、「ゴッホ、ミレーとバルビソンの画家たち」(2004年)、「ロダン-創造の秘密」(2006年)、「マリー=アントワネットの画家 ヴィジェ・ルブラン」展(2011年)、「シャルダン展 静寂の巨匠」(2012)などを担当。著書に『もっと知りたいモネ』(2010年、東京美術)、『もっと知りたいミレー』(2014年、東京美術)共著に『モネ入門』(2006年、地中美術館)、『コロ- 名画に隠れた謎を解く!』(2008年、中央公論新社)。

開催概要

- 日時: 2015年10月21日(水) 19:00~20:30(受付 18:30~)
- 会場: 日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名(申込順)
- 参加費: 1,000円(千代田区民 500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。)
- 申込方法: 来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp) いずれかにて
①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。